



兵庫労働局発表
令和2年1月30日

報道関係者 各位



[照 会 先]

兵庫労働局労働基準部
安全課

課 長	せのお ゆうじ 妹尾 裕治
安全係長	わくた かずひろ 涌田 和宏
TEL	(078) 367-9152
FAX	(078) 367-9166

建設業における死亡災害発生の推移（平成20年から令和元年まで）

～ 過去12年間の死亡者数155人を分析 ～

～ 死亡者は、『墜落・転落災害で5割以上』、『60歳以上で約4割』で発生 ～

はたなか ひろよし

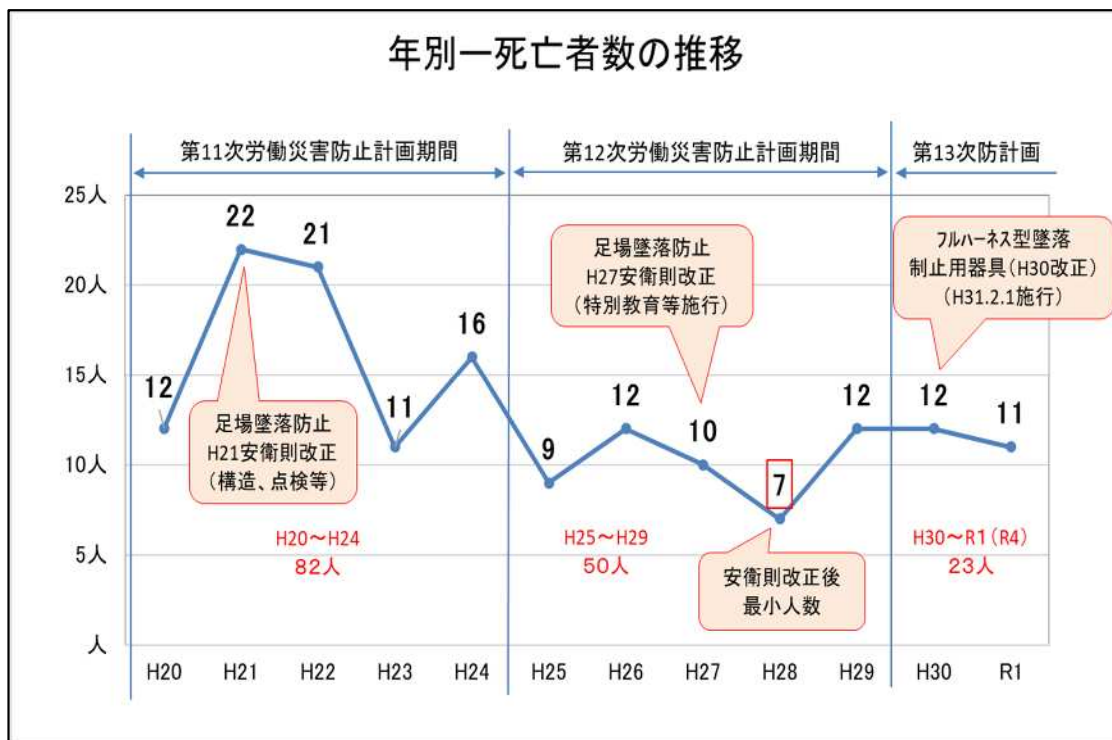
兵庫労働局（局長 畑中 啓良）では、平成20年から令和元年までの12年間、兵庫県内の建設業で発生した死亡災害の発生の推移を取りまとめたので公表します。

12年間の死亡者数は155人（令和元年の死亡者数11人は未確定値）のうち、在来型災害の『墜落・転落』で83人（54%）、『60歳以上の労働者』が58人（37%）、『工事現場入場後7日以内』で94人（61%）で死亡災害が発生しています。

死亡者数155人（令和元年の死亡者数11人は未確定値）の分析した結果は以下のとおりとなりました。

1 年別発生状況

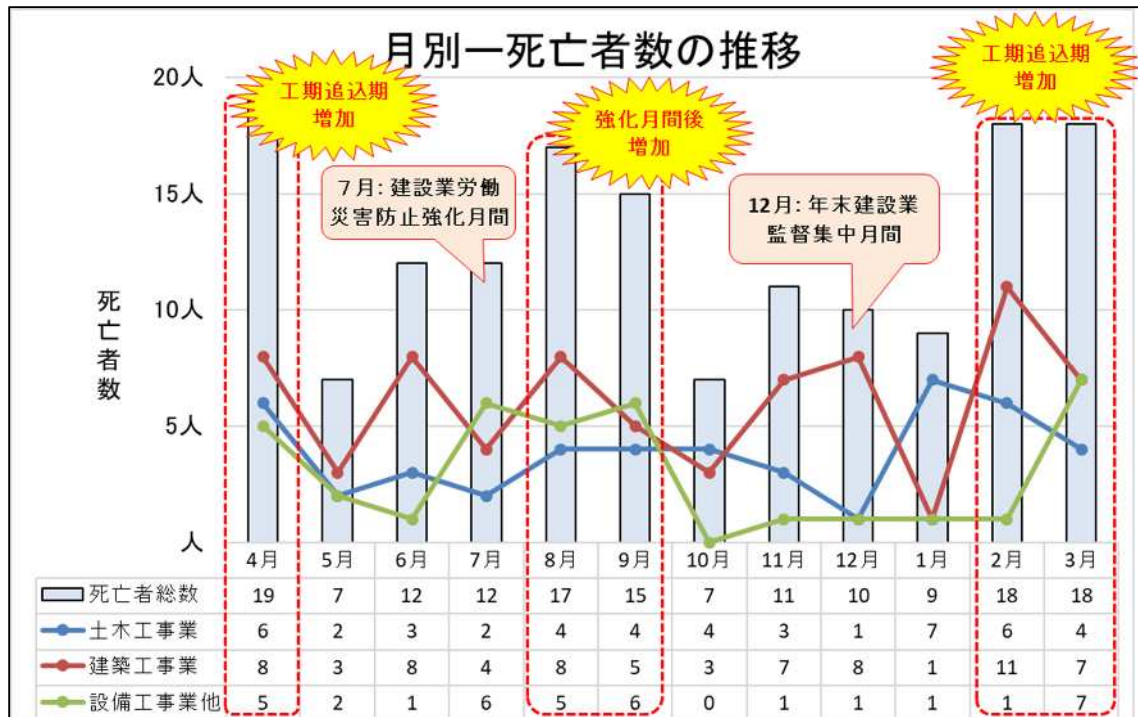
長期的には減少傾向にありますが、平成25年以降、死亡者数は10人前後を推移しています。



2 月別発生状況

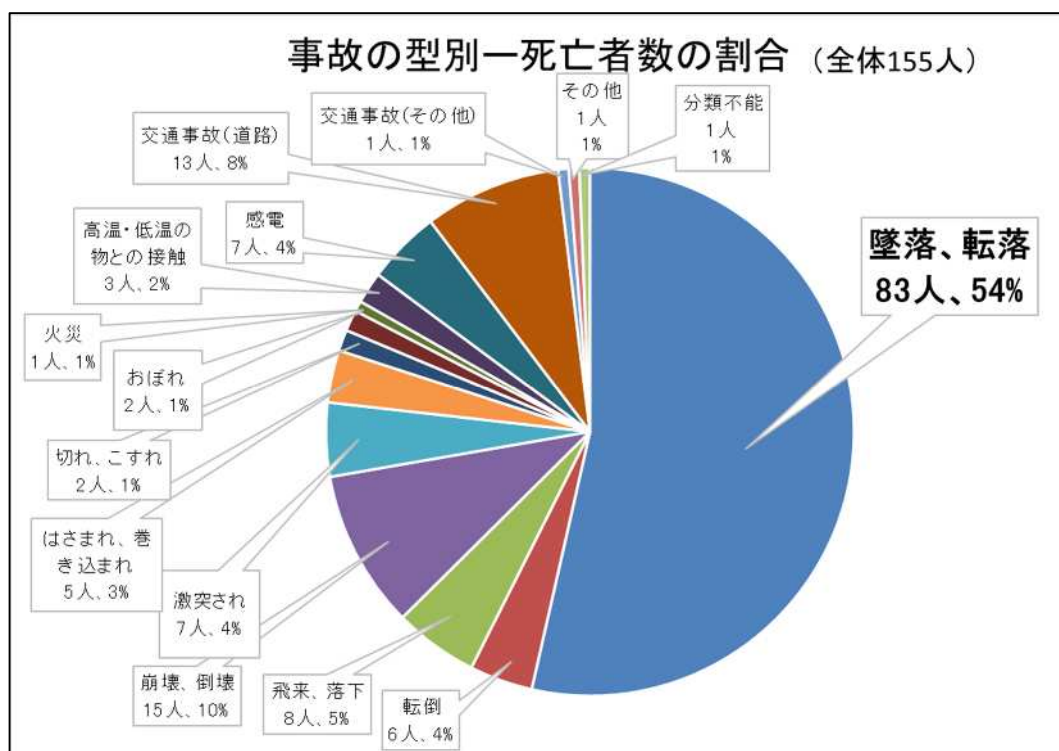
2月から4月の3か月間は、他の月と比べ約2倍近くの死亡者数となっています。この時期は完工を迎える工事が増加する「工期の追込み期」であり、工事現場ではさまざまな作業が輻輳し、労働災害が発生する危険性が高まっていると考えられます。

2月から4月の3か月間における死亡者数は55人、全体の35.7%を占めます。



3 事故の型別発生状況

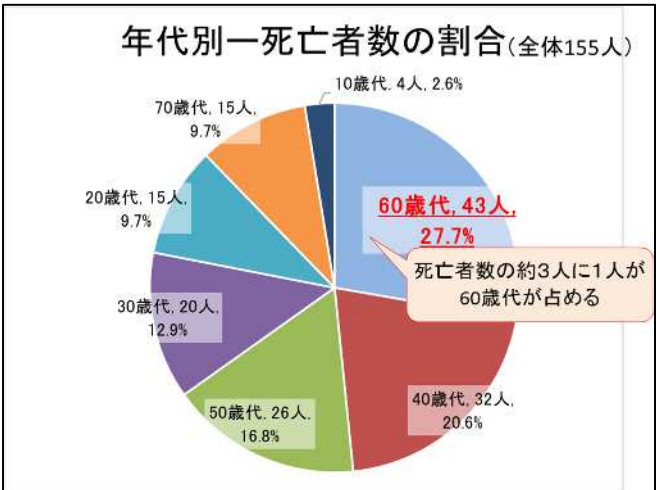
建設業では、依然として墜落・転落災害により 83 人が亡くなっており、全体の半数以上（54%）も占めています。その防止について実効性のある対策を講ずることが急務となっています。次いで崩壊倒壊（15人）交通事故（道路）（13人）となっています。



4 年代別—事故の型別 - 死亡者数の割合

死亡者数の約3割は、60歳代の43人（27.7%）と最も多くを占め、また、60歳以上では、58人（37.4%）と死亡災害が多発しています。（右グラフ、下表参照）

年代別 - 事故の型別では、60歳以上での墜落・転落災害による死亡者数は36人で、墜落・転落災害全体の43.4%と、高い割合で発生しています。（下表参照）

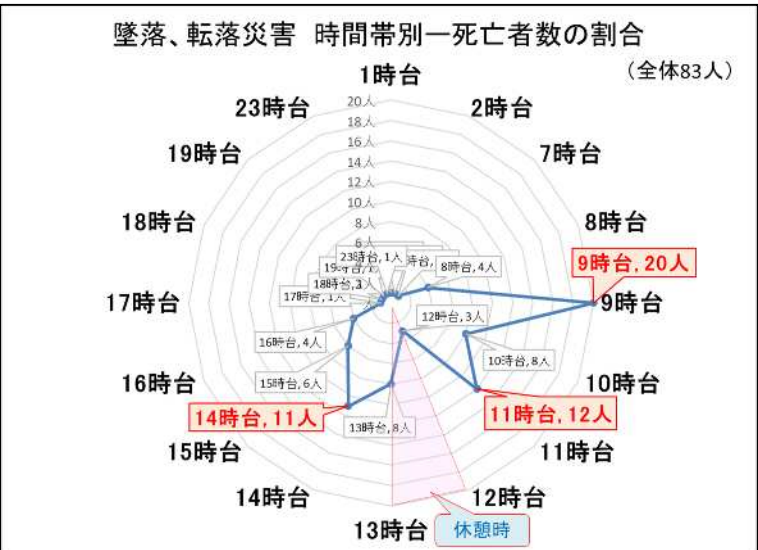


事故の型	総計	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	60歳未満	60歳以上
墜落、転落	83人	1人	10人	9人	13人	14人	28人	8人	56.6%	43.4%
崩壊、倒壊	15人		1人	4人	3人	2人	3人	2人	66.7%	33.3%
交通事故（道路）	13人	2人	2人	3人	3人	2人		1人	92.3%	7.7%
飛来、落下	8人				2人	3人	2人	1人	62.5%	37.5%
感電	7人		1人	1人	3人		2人		71.4%	28.6%
激突	7人		1人	1人	2人		2人	1人	57.1%	42.9%
転倒	6人			1人	2人	1人	1人	1人	66.7%	33.3%
はさまれ、巻き込まれ	5人			1人	1人	1人	2人		60.0%	40.0%
高温・低温の物との接触	3人	1人			1人	1人			100.0%	0.0%
おぼれ	2人				1人	1人			100.0%	0.0%
切れ、こすれ	2人				1人		1人		50.0%	50.0%
火災	1人						1人		0.0%	100.0%
分類不能	1人						1人		0.0%	100.0%
その他	1人					1人			100.0%	0.0%
交通事故（その他）	1人							1人	0.0%	100.0%
死亡者総数	155人	4人	15人	20人	32人	26人	43人	15人	62.6%	37.4%
		2.6%	9.7%	12.9%	20.6%	16.8%	27.7%	9.7%		
		97人					58人			

5 墜落・転落災害 - 時間帯別 - 死亡者数の割合

墜落、転落による死亡災害の発生する時間帯は、9時台（作業開始1時間後）11時台（昼休み1時間前）14時台（作業開始1時間後）に多発しています。

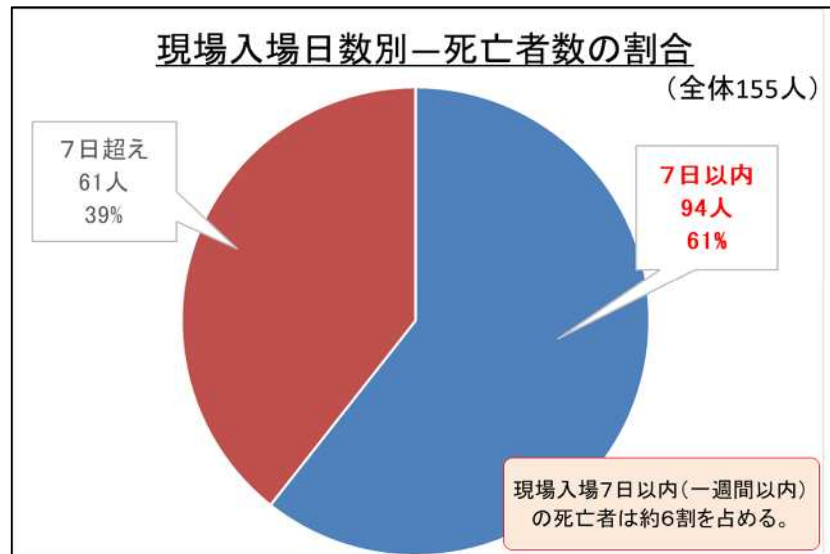
作業開始前後1時間の間（9時台、11時台）14時台）に発生した墜落・転落災害による死亡者数は43人で、墜落、転落災害による死亡者総数83人の約5割（51.8%）に相当します。



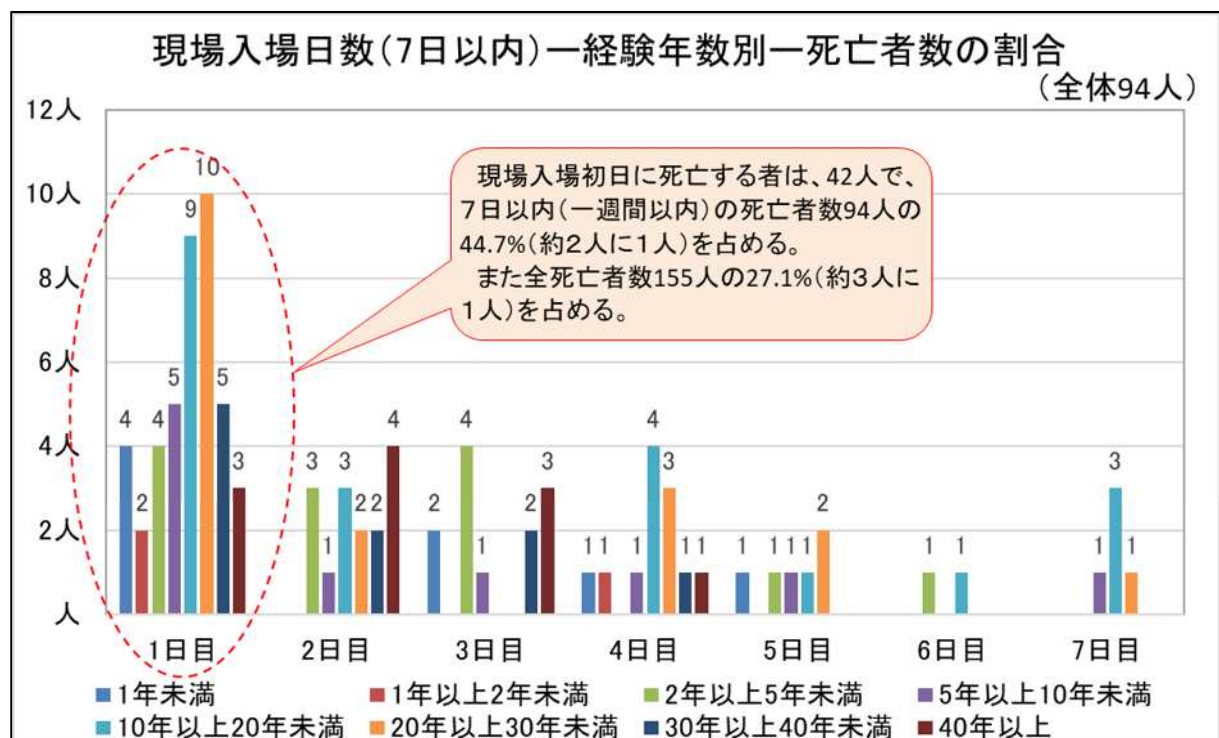
1時台	2時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	23時台
1	1	1	4	20	8	12	3	8	11	6	4	1	1	1	1

6 現場入場日数 - 経験年数別 - 死亡者数の割合

工事現場への入場日数別に死亡者数の割合を見た場合、7日以内（一週間以内）に死亡災害が発生した割合が6割を占めます。



現場入場初日（1日目）に死亡した者は、42人で、7日以内（一週間以内）の死亡者数94人の44.7%（約2人に1人）を占めています。また、現場入場初日の死亡者のうち、経験年数20年以上30年未満の者が10人と最も多く、次に多いのは10年以上20年未満の者が9人を占め、ベテランほど初日に死亡しています。（右下グラフ参照）



現場入場時に新規入場者教育、現場情報の提供・共有が十分行われていないことが考えられ、また、実施されていた場合であっても形骸化していることが考えられます。

7 現場入場日数 - 事故の型別 - 死亡者数の割合

現場入場7日以内(一週間以内)において、墜落、転落災害による死亡者数51人(32.9%)は、155人の3人に1人に相当します。

新規で現場に入場する労働者に対しては、特に墜落転落防止対策にかかる実効ある教育の実行が重要であります。

